

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 国上校区		住民の参加人数 男性 16 人・女性 0 人・合計 16 人	
月 日	平成 28 年 8 月 22 日	会 場	国上中央公民館
開始時間	18 時 30 分	終了時間	21 時 00 分

報 告 の 質 疑	
意 見 交 換 会 で の 質 疑	1) 馬毛島の問題は議員だけで反対ばかりしているが、市民の考えを知りたい。市民アンケートを実施したらどうか。 2) 馬毛島について議会報告会で反対意見ばかり述べており、住民を煽動しているようになりはしないか。反対のための特別委員会には納得できない。議会は中立の立場で情報を市民に伝えるべきではないか。 →議会内でも賛成反対で議員の意見は分かれています。各々の議員が市民からの付託を受けてそれぞれ意見を持ち、今回の特別委員会は「反対の立場」で設置されています。市民の賛成反対がありますので、防衛省にも出向いて調査しました。防衛省からは以前と何も変わっていないと説明を受けました。 3) 翁長知事の馬毛島訪問について県知事や市長には事前に伝えられたのか。新しい鹿児島県知事には、ぜひ離島について関心を持っていただきたい。 →沖縄県から鹿児島県には報道の 1 時間前に連絡があったようですが、西之表市には連絡もなかったため、沖縄県知事に遺憾の意を通知しています。 4) 榕城中学校跡地など 3 箇所くらい候補地をあげ、短期大学を造りたいとの報告があった。議会への説明があったのか。 →高等教育機関の設置については地方創生事業として昨年度調査事業を行いました。今年 4 月以降に公設で補助金があることや看護学校の将来性が高いなどの結論について報告を受けました。今年度引き続き、生徒確保のための調査など約 200 万円の調査費で取り組んでいます。

	5) 中心拠点施設について 市の商工会は賛成していると聞いているが。 →拠点施設建設について昨年12月議会で提案されましたが、議会では反対が支配的だった。商工会も活性化をなんとかしたいと考えています。8月末に商工会と議会の意見交換会も予定されています。市長から議会に対して現時点では具体的な進展は示されていません。 6) 高速船のバンカーサーチャージは燃油が下がっても料金が下がらないが。 →燃料が上がるとすぐ料金は上がるが、燃料が下がっても料金は下がりません。高い値段で買った燃料が残っていると事業者が言えば、いつまでも下がらないなどの現状に対し、透明性のある料金設定の制度が必要だと考えます。県が3%の株主だから、意見を言ってほしいと県にもお願いし、料金を値上げするときは県や議会と協議するよう要望しています。有人国境離島による補助も業者が吸収するのではないかと心配しています。 7) 市長の体調はどうか。市民が心配している。 →市長が復帰するまで、副市長の職務代理は8月31日までと聞いています。 8) 議員定数はどうなっているのか。9月中には結論を出すべきではないか。 →議員定数を4人削減する内容の陳情書が出され、現在議会運営委員会で検討中です。しっかりした考え方をまとめて、結論を出したいと考えています。
意見・提言	1) 教育文化関係で、昔は県体、郡体への出場選手は全額補助だったが、議員も要望して補助金を増やしてもらいたい。
備考（今後の改善点等）	

平成28年9月16日

西之表市議会報告会実施要綱 第10条第1項の規定により提出します。

議会報告会 1 班

班長 長野 広美 _____

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 橋口 美幸

地域名 現和校区		住民の参加人数 男性 18 人・女性 1 人・合計 19 人	
月 日	28 年 8 月 23 日（火）	会 場	現和区長事務所
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 28 分

報告の質疑	1) 地域振興推進事業で「シカとの共存」とあるが、共存があり得るのか。私は撲滅しかないと思っている。どういう考えか。 →県の事業であり、その事業名が「シカとの共存」となっているものです。市としては、昨年度 2000 頭を目標にやって達成しています。今年度も 2000 頭を目標に、撲滅に向けて実施していく予定です。 2) シカについて、減らしていくという話はわかるが、年もとっていくと、防護柵をするのも大変である。早めに取り組んで対策をしてほしい →報道によると、5000 頭いるという話も聞きます。2000 頭ではおいつかないので、数を増やすよう検討しないといけないと思います。9 月議会の委員会でも議論します。
意見交換会での質疑	1) 結婚しても若い人がなかなか地域に定着しない。地元の家を作ってほしい。地域に定着してもらうための助成金・補助金はないか。 →住宅を借りる場合、修理する場合、家を地域に建てる場合も補助金があります。地域支援課で実施している補助金を活用してほしいと思います。 2) 西俣でがけ崩れがあり、とりあえず応急処置をしてもらった。通学路でもあるので、その後の状況、処置についてどうなっているか。 →特に聞いていないので、最新の情報を確認して連絡します。 3) 農家に対する市のビジョンは。 →・若い人たちが地元根付いて、農業をしていくという青年後継者育成制度という国の補助制度があります。そこにもっと、指導や援助体制、経験者のノウハウをどう伝えるか、行政としても議会としても力を入れるべき課題だと思っています。農業で食べていけるような、少しでも展望が開けるような施策をやっていかなければならないと考えます。 →・TPP も大筋合意となり、ますます厳しい状況になります。安納いもで元気な農家もありますが、本当に小規模零細農家が元気になっているかというと、難しい状況です。行政はもっと農家に、現場に足を運んでもらいたいと思います。農協

とも今まで以上に連携をしてもらい、競争力をつけていかなければならないと考えます。

→・長野市政になってから、農家に対する補助事業やさまざまな分野の中で、いかにして収益をあげていこうかという施策は評価できると思います。しかし、何に集中して予算を使うかがなかなか見えてこない現状にあります。農業といっても多岐にわたる分野があり、ポイントをつかまないと難しい。後継者育成にも力を入れているが、なかなか先が見えてきません。農林水産課だけでは難しく、農協も含め、長期的に市民一緒になって話をしなければならないと考えます。

4) 行政は（議会は）市民の声に対して素直に耳を傾けてもらえるのか。

→・市民の声を行政に伝える、議員は代弁者だと思っています。市民の声を伝えるのが仕事だと思っています。

→・職員もいろいろいます。それを監督・指揮していくのは、課長であります。しかし、なかなか気づかない部分もあると思うので、もし、職員の態度が悪いと思った時には、きちんと伝えてもらい、きちっと指導していく。そういう体制がなければ、職員も市民に役立つ方向に進まないと思います。こういう機会をぜひ使ってほしいです。

5) 公費を使った入札はどうやって行われるのか。

→額については、聞き取れるかもしれませんが、議会は入札には関わっていません。

6) スナップえんどうを生産している。雪で壊滅的な被害を受けた。補助金について 6 月議会で説明があったということだが、それについて教えてほしい。

→園芸産地再生産支援事業というもので、3800 万円ほど予算をつけています。土壌改良資材、種子、種苗、肥料及び農薬等の購入費用で、2 分の 1 以内の補助となっています。

7) 園芸産地再生産支援事業について、補助金が出るのを知らなかった人がいる。そのことに対して議会としてどう思うか。

→・議会としては、議会だよりで紹介しています。詳しく知りたいときには、農林水産課のほうで聞いてほしいと思います。

→・本来であれば、県のほうは、3 月議会で出したかったようですが、手続きの関係で 6 月議会になったということでした。西之表市議会としては、6 月議会で予算の提案がなされ、産業厚生委員会で議論をし、本会議で承認されたということです。

	8) 種子島は、持ってくるのにお金、出すのにお金、本土よりコストが高くついている。補助事業であるがゆえに、高い肥料を買わされている。補助事業だからいいという考えではいけない。私が知る限り、園芸産地再生産支援事業については、中身が疑われる事業だと思っている。 →・園芸産地再生産支援事業は緊急に作られた予算です。審議する中で、農家の皆さんのためになるということで委員会でも認めました。予算が通ったあとは、どういう雪害があつて、どれだけの補助がでるかということですが、そこに疑義があるのであれば、今後農林水産課がどういう経過で補助金を出したのか話をしたいと思います。 →・できない部分、できる部分あります。農家の人のためにせつかく出た補助金なので、役立てられるように、どこまでできるか検討させてほしいと思います。 9) 牛のふん尿の悪臭について。連続的にふん尿を流しており、海の汚染、漁業に対する影響、住民も我慢している。単なるし尿処理場となっている現状をどう見ているか。監督機関がもう少しちゃんとしてもらいたい。 →農林水産課には、随時伝えていますが、なかなか改善されない状況です。以前、酪農組合にもしっかりと指導するべきという申入れをしたこともありますが、実施されていません。農協・行政とも一緒になって指導していくしかないかなと改めて考えさせられましたので、委員会のほうでも議論したいと思います。
意見・提言	
備考	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会__2__班

班長 橋口 美幸

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 中割校区		住民の参加人数 男性 9 人・女性 2 人・合計 11 人	
月 日	平成 28 年 8 月 24 日	会 場	生姜山公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 00 分

報告の質疑	1) 畜産クラスターとは何か。 →畜産農家に対する国からの補助事業で、地域ぐるみの取り組みを目指すものです。
	1) 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業は、旧校舎改築費が予算の半分で残りがソフト事業となる。しかし、校庭など外回りの補修が必要であるため、その後の補助事業の導入等、ぜひ支援していただきたい。 →予算は可決しました。旧小学校の改修のみで外側の整備は別途対応が必要と認識しています。 2) 榕城分団の詰め所の移転が計画されているものの、消防本部の移転はどうなっているのか。南海トラフ地震など津波対策もまちづくりで議論すべきではないか。また、中割地区が津波被害を受けるとは想定できないが、区民が病院等町中に出ている際に津波に遭遇した時の対応も必要。 →消防署については議論されてきたものの、現状では移転計画はありません。災害時には市民会館が避難所の拠点とされており、災害備蓄を下西公民館に設置する計画も出てきています。今後さらに対策が充実されていくものと考えます。また、議会でも東日本大震災の被災地を視察しましたので引き続き検討していきます。普段から、行政頼みでの対応ではなく、地元の皆さんが独居老人等の把握など取り組んでいただきたいと思います。 3) 西之表市のふるさと納税は少ない。大崎町は 27 億円もあり、南種子町や中種子町よりも少ない。地域支援課でプロジェクトを立てたらどうか。また、西之表市から他市にどの程度でているのか。 →議会でも活発に議論しているテーマです。島外のイベントなどでチラシを積極的に配布するなどの対応をしており、今年度は 5,000 万円を目標

	にしています。魅力ある商品が必要です。他市への寄付状況については調査します。
意見・提言	1) 旧校舎を改修して託児所として使うことを検討中。古田保育園が閉園したため町中まで子どもを毎日送迎している区民もいるので、ガソリン代の補助ができないものか。この地域には若者が定住しにくいと思われる。古田校区とも話し合っているところ。 →託児所の運営には有資格者を含め様々な基準もあり、簡単ではないのではないかと思います。今後検討したいと考えます。
備考（今後の改善点等） ・当初懇親会を開催する予定としていたが、担当者の確認漏れのため準備できずに解散してしまいました。開催の事前確認が重要。	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会 1 班

班長 長野 広美

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 橋口 美幸

地域名 住吉校区		住民の参加人数 男性 8 人・女性 1 人・合計 9 人	
月 日	28 年 8 月 24 日（水）	会 場	住吉中央公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 25 分

報告 の 質 疑	1) ふるさと納税を他地域へしている人もいると思うが、その金額は。 →西之表市民で他地域へふるさと納税をした方は 34 人、寄付金額は 330 万 8 千円ということでした。市県民税の控除額は 147 万 4926 円となっておりますが、減収分の 75%（約 110 万円）が交付税措置されることから、実際の減収額は 36 万円程度となります。 2) 過疎地域等集落ネットワーク圏形成事業に、2054 万円とあるが、こんなに費用がかかるのか。 →旧小学校の改修事業が主なもので 1000 万円、他にも見守り事業、体験・研修受け入れ事業、特産品づくりなど、様々な事業を予定しています。国の補助事業を活用するものです。 3) シカを埋める場所について、下西と言われたが場所はどこか。自分は、国上・住吉・安城・古田と聞いたので。 →担当課に確認したところ、埋設場所は、牧之峯・古田・安城の三か所は決定しており、下西については、予算の関係で 12 月以降になるということでした。
	1) 形之山の化石が出るところに、今度も 20 人ぐらいきた。駐車場と休憩所（コンテナ）は私が貸しているが、トイレは近くの個人宅を借りている。年間 200 人ぐらいくるので、トイレ・駐車場ぐらいは整備したほうがいいのではないかと。 →国上のほうでも北部観光ということで、毎年トイレの設置を要望していますが、難しいということです。今度、仮設トイレを設置するという話もでているので、形之山についても、仮設トイレの設置ができないか確認します。 2) 市の水道料金が低い。統合されると、水道料が今より高くなる。 →水道料は高くなるかもしれませんが、地域でやっている維持管理が必要となくなることから、地域からの要望も多かったということです。水道料が高いのは、水源池が 2 か所あり、その維持管理・補修等に費用がかかっている状況であることが原因と思われます。 3) 深川の水道は今年本当に統合されるのか。全く動いていない。できる、できない、
	意見交換会での質疑

	はっきりしてほしい。住民もそれに対応していかなければならない。今のよう な状態でできるのか疑問である。 →当初予算の産業厚生委員会委員長報告によると「武部地区及び、深川地区簡易 水道統合整備事業のうち、配水池・消火栓の増設分などと予定しています。」とな っているので、29年度までずれこむのではないかと思います。担当課に確認し、 報告します。 4) 農業の後継者についてどういう状態か。土地が荒れてきているので、有効活用で きればと思う。 →・農業をやるのに一番大変なのは、機械の調達で、購入してもその手入れや修 理に費用がかかります。農機具のリースについては、みなさん、使う時期が同じ になるなど問題もあるので、農協も一緒になって考えていきたいと思います。 →・県の事業で集落営農組織を立ち上げて、共同で使用するというのがあります。 リースというのは難しいのではと思います。 5) 議員定数については、今のままでもいいと思うが、同じ地域の出身者が数名いて、 議員のいない校区もある。自分の地域の問題を吸い上げるのも議員の仕事だと思 う。投票するのは市民なので、難しいとは思いますが。 →昨年も話が出ましたが、議員のいない校区については、要請があればいつでも 出向きお話をお伺いします。
意見・提言	1) 議場について、傍聴者席からは、課長さんたちが見えるつくりになっていて、議 員の顔が見えない。逆にしたほうがいいのか。 →西之表市の庁舎のつくりから言って、改修も費用がかかり、議員と理事者の場 所を入れ替えるというのも難しい状況です。 2) 防災無線でお知らせしているが、傍聴者が少ない。 →毎回、防災無線で流していますが、少ない状況です。今回高校生の傍聴をお願 いしました。そこらあたりから、議会の魅力を伝えていき、少しでも傍聴者を増 やしていきたいと思います。 3) 会議録をネットで見ているが、ユーチューブに流すことはできないか。 →話にはあがっており、議会運営委員会でも調査し、検討していきます。
備考（今後の改善点等）	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会 2 班

班長 橋口 美幸

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 上西校区		住民の参加人数 男性 14 人・女性 0 人・合計 14 人	
月 日	平成 28 年 8 月 26 日	会 場	上西区長事務所
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 30 分

報 告 の 質 疑	
意 見 交 換 会 で の 質 疑	1) 部落費と校区費で 3,000 円と高く、市内の自治会費についての地域格差が大きい。また本来行政がやるべき仕事を地域に委託している。プライバシーの問題もある。自治会費を住民税に応じた部落費、校区費にするなど、行政でシステムを考えるべきでは。一方で、自治会費は地域で決めるべきこととの意見もある。 →かつて地域活性化交付金の給付の際、自治会費の高いことを考慮しての給付としましたが、自治会費はそれぞれの自治会で決めることなので、一律には強制できません。 →安城では今年から収入に見合う程度に役員手当を大幅に減額しました。市からの広報紙など配布物は公民館に私書箱を設置し、高齢者以外は自分で書類を取る方式に切り替えました。役員の負担が大きくならないようにしましたが、元に戻した方が良いとの声も出ています。 2) 禁猟期間に鹿の駆除ができないのか。島に帰省して、13 年前より増えていると感じている。特に集落内でも被害が出てきている。禁猟期間にも対策が必要。また、報奨金が高すぎる。何が一番効果があるのか。 →今年度の鹿駆除の目標 2,000 頭に対し、8 月で 950 頭駆除しています。種子島の生息数が 5,000 頭とも言われています。 →猟友会も高齢化しています。報奨金を下げると撃たないことが考えられます。最近もネットを張ったがだめでした。

	→網は毎日見回りが必要で、電気柵は草刈り等しっかり管理しないと効果がありません。金網柵が最も効果的だと思います。 3) 鴨が増えている。雉の被害も出ているし、タニシも多い。鹿等の鳥獣被害の被害額を知っているのか。 →昨年度の被害総額は約8,500万円。 4) ゴミ袋に結ぶところがない。高齢者はガムテープを貼っていることもある。普通の袋ではなぜいけないのか。屋久島町のようにポリタンクを収集場所に置いて廃油等を回収したらどうか。 →ごみ回収費用のため、ごみ袋が有料化されていますが、結び紐付きのごみ袋に改良することについては現在協議中と聞いています。廃油回収は来年度から試験的に実施するよう検討中です。 5) 里親制度を導入している南種子町で閉鎖された小学校はない。西之表市は鴻峰小や立山小がすでに閉校となった。この閉校式で市長等は写真に笑って映っていたが、区長さんは悲しそうだった。また、東大生がこの夏来ているが、種子島にはまったく魅力がないと言っている。もっと人に来てもらうための島の情報発信が足りない、下手だ。 →安城では農村都市間交流を過去に実施し、彼等は帰る時に泣いていました。人との付き合いが一番大事で、観光は人の文化が重要だと思います。 6) 議員を少なくしても少数精鋭にはならない。議員は利益代表の面もある。 7) 議会傍聴に行きたいが平日なので行けない。休日に開会してもらえないか。 →インターネット放映も検討中です。
意見・提言	1) 市の人口が1万6,000人を割ってきた。10年後には1万2千2,000人との予測もあり、人口増が大事。以前開催された演説会で議員立候補者の3分の1以下しか参加せず、議員のマニフェストを聞いたことがない。高い視線と見識を持って取りくんでもらいたい。議会だよりを拝見している限り、馬毛島のことしか言わない議員がいる。もっと幅広く提言し、生産的な議論をしていただきたい。鹿児島県への移住者が増えている。種子島は魅力ある島、もっと発信してもらいたい。また土・日曜日での議会開催を希望。 2) 馬毛島の基地には反対の立場ですが、騒音、観光イメージ低下、島民が棚ぼた式のお金を期待していることが心配、自助がなければいけない。基地

	反対派の議員も反対するだけではなく、高い見識を持って馬毛島の活用方法を提案すべき。 3) 県が河川工事をしてくれた。買収した土地でもあるが、その法面や、三面張りで河底に石を置いたりしているが、その後に葦が生えるなど、工事後はどこが管理すべきか。大変手間がかかる。
備考（今後の改善点等） 調査回答事項 シカの被害額	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会__1__班

班長 長野 広美

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 古田校区		住民の参加人数 男性 17 人・女性 0 人・合計 17 人	
月 日	平成 28 年 8 月 30 日	会 場	古田中央公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	21 時 30 分

報告の質疑	1) ふるさと納税の実績はどうだったか。多額の経費が掛かっているのはいか。今年の見込みは。 →昨年の実績 1,500 万円の寄付に対して 30～40%返礼品を出しており経費負担が大きいとは考えていません。今年度は 5,000 万円の寄付額を目標にしています。 2) 過疎地の集落ネットワークとは。 →中割校区の元小学校の改修工事費 1,000 万円、高齢者ふれあい事業や巡回バス事業などソフト事業が計画されています。元小学校を改修し、宿泊機能も含まれています。
	1) これまで再三議会報告会や市長と語る会でも、古田住吉線について質問してきた。市道 1 級の扱いとは思えない道路状況で、過去には農道整備を可能とするようにランクを見直すか、整備をするかを相談したこともあり、建設課長は平成元年には長期計画に盛り込むとの回答もあったが、それすら時効になるのか。昨年の議会報告会でも要望したが、何も回答が無い。議会でも現地調査すべきではないか。 →昨年の議会報告会以降、まだ現地調査をしていません。予算との関連で先に延びていることが考えられます。農道への格下げの件についても関係課に確認し、問い合わせ、現地調査を行いたいと思います。 2) 戸建て市営住宅の家賃について、子どもの成長に伴って子育て世代の夫婦が懸命に働いた結果、家賃が収入額を基準とするため月額 9 万円を超え、古田校区を出て行った。担当課にも交渉したが、国の補助で平成 14 年に設置した市営住宅のため国の基準に照らして家賃を決定しているためと説明を受けた。地域に合わない割高な家賃に納得できない。市営住宅家賃の最高額は決まっていないのか。 →月額 9 万円を超えるのは、高すぎるという印象がありますので、状況把

	握に努めます。 3) 上之町の水道水が十分供給されていない。水圧を上げる装置を家庭ごとに個人負担で取り付けしている。水圧の低い地域を調査して改善してほしい。 →水道事業が一本化されつつあります。議会でも担当課と協議してきていますが、具体的な進展はまだ出ていない状況です。私たちの地元でも問題がありましたが、担当課は給水圧力を測り、基準値内として対応しませんでした。基準値だけでの判断は問題だとも思います。引き続き協議していきます。 4) 上妻家はどこなのか。購入価格が高いように思う。遠藤家や八板家も購入するのか。古民家買取りはそれほどの価値があるのか。市としては他にやることあるのでは。 →旧合同庁舎の下に位置し、国の重要文化財の指定を目指しています。買い取り価格は1,273坪の面積に坪単価2万2,000円程となり、市価より割安でした。遠藤家や八板家などについては、担当課から買い取りの候補地であるとの説明を受けました。いましばらくは購入した上妻家の整備に集中するものと考えます。
意見・提言	1) 市有林の干ばつ事業について伐採作業の際には、道路沿いまでしっかり対応していただきたい。
備考（今後の改善点等） 18時より、窪田古田区長より、「結の里」事業について現地で説明を受けました。 懇親会のため、質疑・意見交換の時間を予定より短く設定してしまいましたが、多数の意見をいただき、時間を延長し、その後に校区役員のみなさんと懇親会を約1時間開催しました。	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会 1 班

班長 長野 広美

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 13 日

記録者 橋口 美幸

地域名 立山校区		住民の参加人数 男性 12 人・女性 9 人・合計 21 人	
月 日	28 年 8 月 30 日（火）	会 場	立山公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 46 分

報告 の 質 疑	1) ふるさと納税について。大崎町はすごい額になっている。大崎町と西之表市との違いは何だと思うか。西之表市の実績 1587 万円という数字は、多いのか少ないのか。またこの中で出郷者は何人ぐらいいるか。 →・大崎町では肉、うなぎが人気ですが、西之表市ではそこは難しいと思います。行政としては、出郷者会にも出向き、毎回お願いしていますがなかなか進んでいない状況です。西之表市の人も西之表市にふるさと納税できる制度でもあるので、活用してもらいたいと思います。 →・西之表市は、これまで国の考え方に従ってきた面があります。これからは多く寄附をもらっているところのように、特産品を活用し、町おこしに使ってってもらいたいと考えます。 →・額については、他から見てもまだ少ないのではないかと思います。 →・ふるさと納税については、平成 27 年 9 月から「ふるさとチョイス」というサイトでも申込をできるようにしており、そこからの寄附がほとんどとなっています。種子島に関わりがない方の目にもとまり、寄付額が伸びている状況ではありますが、具体的に、出郷者であるかどうかについては、把握ができないということでありました。
	2) 中心拠点施設について。議会で傍聴していても大字についてほとんど言及していない。商店街のために反対、賛成している。大字の人の意見はどうでもいいのか。 →・まちづくり特別委員会は、大字の人たちが町にでてこない限り、活性化しないというスタンスでやっています。大字の人たちも賑わうまちづくりをどうすればいいのかを、商店街の人たちのアンケートを参考にすすめている状況です。大字を含め、西之表市全体が活性化するような議論をしています。 →・産業厚生委員会がとったアンケートと、行政のとったアンケートでは結果が違うので、両方の意見を聞いてさらに検討をしていく必要があると思います。
	3) 中心拠点施設について。アンケート結果は市街地だけのものだと思うが、大字についてはどのぐらいとったか。その意見の集約結果はどうだったか。 →正確ではないが、市が市民から抽出してとったアンケートでは、必要という

	人が 60%近くいたと思います。しかし、予算や場所を提示しているわけではないので、産業厚生委員会がとったアンケートとは比較できないと思います。 4) ふるさと納税について。納税というのが寄附は寄附。交付税措置がない東京 23 区では何億もの赤字が出ているところもあり、そこは住民が自己負担しないといけなくなる。私は他市町村のようにしてほしくない。ふるさとの定義をどう考えるか。 →出郷者がふるさとのためにという気持ち、ふるさとに恩返しをしたいという気持ちが基礎であると思います。
意見 交換 会 で の 質 疑	1) 営農大学校に入って、その後就農している人は何人いるか。 →・人数については正確な数字ではありませんが、これまで 12、13 人が卒業し、1 人が就農していないという状況であったと思います。委員会でも、支援金をもらっていますが、本当にやる気があるのか疑わしい人もいるということも話があり、担当課は強く指導しますとのことでありました。 →・以前は、お金をもらうためにという話もあったが、今は審査委員会も厳しくなり、指導もこれまで以上に強化されていると思います。 2) 市道が荒れている。海岸線が歩いていて危ない。今年は 1 回も草払いにきていないが、パトロールする人はいないのか。 →毎週水曜日に巡回して、順番でやっていると思いますが、建設課に確認をし、早急に対応するよう話をします。 3) 橋のところが本当は 2 トン車以上は通れないが、その看板が落ちており、4 トン車が通っていた。看板を設置してほしい。昨年の市長と語る会でも話をしており、そのときは早急にすることということであったが、現在もそのままになっている。 →建設課に確認をし、早急に対応するよう話をします。 4) 立山小学校が休校になって、子どもの声がしなくなったのが大きい。そこから元気がなくなっている。例えば子どもが何人か集まって、学校再開の要望があがったら、議会はどう対応するのか。中割の話を聞くと、いったん他の学校に通い始めると、再開しようという話はでてこないということである。小さい学校で何かをするのは大変だという気持ちも親の正直な気持ちであると思う。実際、再開の話がでて、職員給与の問題等、うんとは言わないと思う。 →・中割の話は、学校を再開するとなると相当なエネルギーがいるという話は聞いたことがあります。しかし、国も地方創生をにかけているので、要望があるのであれば、そこにエネルギーを使うのはいいと思います。子どもたちが地

	域の皆さんに育てられながらというのが大事だと思います。 →・学校をなくすというのは、人が減るということで、相当なマイナスになります。子どもが 1 人でもいれば、学校を残したいというのは、市長、議会あるのは確かです。親御さんの気持ち、地元の意向を最大限優先したいと考えます。 →・近い将来、統廃合の問題は必ず出てきます。そこで、住民が議会がどう動くかだと思います。 5) 選挙について。投票時間を繰り上げている。理由を聞いたがはっきりしない。立山・中割地区は 18 時までとなっており、町に仕事に行っている人もいて、間に合わないと思う。議員は気にならないか。 →時間については確認してみます。 6) 介護保険の予算が減っている理由は。 →平成 27 年度から国の制度が変わり、平成 30 年度まで猶予期間がありましたが、西之表市はいち早く新制度を導入したことによるものです。
意見 ・ 提言	1) 学校の休校・再開問題については、行政や議会ではなく、子どもがどこに通いたいか、子どもの気持ちを優先させてほしい。 →・休校については、地域の人たちも苦渋の選択だったことと思います。子どもを中心に、安定的に地域で教育できる場、どういったあり方がいいのか検討したいと思います。 →・子どものためにどちらがいいのか十分議論したいと思います。 2) 傍聴にいつて思うことだが、職員に聞いてわかることであれば、本会議で聞く必要はないのではないかと。統計的な数など。それをたたき台に議論していくものではないかと思う。 3) 一般質問で配付資料を使って質問する議員がいるが、わからないので、傍聴者にも配付してほしい。 4) 本会議の休憩中に課長のところにいつて、談笑している議員がいるが、緊張感がなく見ていてよくないと思う。 5) 視察に行ってるが、全員レポートを書いて、ホームページに載せてほしい。議員が視察にいつて、どう感じたか知りたい気持ちがある。 6) 日曜・夜間議会を開けないか。傍聴者も増えるのではないかと。 →・議会を身近に感じられるよう努力していきます。夜間議会については、昼

	間働いていて、夜も傍聴にきてくれるのかどうか、アンケートを取ったりしたいと思います。時間が問題なのか、議会の質が問題なのか、さまざま議論したいと思います。 →・18歳選挙権が実施されるにあたり、本年6月に土曜議会を計画していましたが、諸事情により中止となりました。今後も市民はもちろんですが、高校生を対象にした土曜・日曜議会を議会運営委員会でも検討していきたいと思います。 7) 立山は高齢化率が50%を越えている。介護保険の改正があり、老老介護をなささいということかと聞いたこともある。市独自の高齢化対策を取ってほしい。お願いします。
備考。	

平成28年9月13日

西之表市議会報告会実施要綱 第10条第1項の規定により提出します。

議会報告会 2 班

班長 橋口 美幸

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 安城校区		住民の参加人数 男性 11 人・女性 0 人・合計 11 人	
月 日	平成 28 年 8 月 31 日	会 場	安城中央公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 30 分

報 告 の 質 疑	
意 見 交 換 会 で の 質 疑	1) まちづくりについて 街なかでは歩行者が危ない。西町から池田三文字まで車の通行を禁止するか、一方通行にすべきではないか。 →昔から検討してきましたが、町住民の皆さんの理解が得られない等、具体的な話には進展してきませんでした。また現在の都市計画マスタープランにもその計画は含まれていません。しかし、今またまちづくりの議論の中で、商工会などでもこの点について議論されています。 2) 我が家は畑の中に住宅があり、畜産の糞尿散布などによって一日中窓を閉めないと臭いがひどく困っている。その改善をお願いしたい。 →法的に撒いたら、耕運しなければならないことになっています。現和でも問題になっており、今年度はスラリー対策に向けてのたい肥化推進事業があります。 3) 集落にこの 3 年間人糞を撒いている人がおり、ずっと苦しめられている。先日雨の日に小学校の校庭まで臭いがひどかった。市民生活課にも報告しているが改善されていない。 →法的に禁止されている行為なので、担当課に問い合わせます。 4) 西之表市では、たばこの吸い殻をポイ捨てするのをよく見かける。禁止条例はないのか。

→条例はありません。マナーとしてお互いに注意したいと思います。

5) 公立の病院はないのか。

→本市にはありません。中種子町と南種子町の共同病院はありますが、公立病院の運営は大変厳しく、奄美大島に県立病院があります。人口規模の差だと思います。

6) シカの被害対策をもっともっとやってもらわないとシカにやられてしまう。ネットでは被害は減らない。張らないよりはましだが。

→金網、電気柵が平成 26 年度はありましたが、関連予算を確保し、年々力を入れてきています。今年度はネットと支柱に 4 2 3 万円の補助が出ています。また昨年度の被害額は 8 5 0 0 万円で、補助した額は 6 千万円でした。たしかに金網柵が最も効果があり、金網と電気柵の補助については調べて報告します。

7) 町中の道路の両脇に緑の線が引かれているが、その意味は何か。

→国道や県道なので、市の事業ではありませんが、歩道を緑色にしてあり、鹿児島市内でも見かけました。

8) 海上保安庁の種子島保安署の規模について、隻数や停泊場所はどうなるか。

→2 0 0 トンの巡視船が 1 隻配備され、職員が約 2 0 人が配置されるようです。

9) 安城平松線は全長 3 億 6 千万円の事業だが、今年の 1 億百万円で延長される長さは。

→2 8 年度計画は 2 5 0 m の改良工事です。

1 0) 西之表市は馬毛島誘致に反対か。これまでの経緯を知らないが、その理由は何か。国はどこかに決めなければいけないので、いつも反対するばかりではなく、対話や対案を出すのが良いのではないか。

→議員は個々考えがあるが、西之表市議会は自然が大事、観光に力を入れる、交付金を当てにせず基幹産業の振興をはかる等の理由で反対しています。平成 2 3 年に表面化したのですが、空母艦載機の基地が厚木基地から岩国に移転する予定で、F C L P 訓練基も硫黄島より近い馬毛島が候補地として日米合意文書に記載されています。そこで議会も白紙撤回を防衛省にお願いしま

	した。国に対案を出す立場にはありません。 1 1) 赤尾木の湯が出来た。南種子からの人が多く、いい温泉だ。今の状況はどのようなになっているか。 →入浴客が1日約150人、年間で約5万人の見込みだそうです。南種子の温泉に行っていた人が赤尾木の湯に行っている 1 2) 上妻家の保存問題について、文化価値が高いものなのか。また、遠藤家も買収する予定か。 →昨日も無駄ではないかと言う人もいましたが、上妻家は旧合庁下にあり、約3千万円で購入したものです。貸家も含まれますが、文化価値のあるものは母屋だけで、整備するにはしばらくかかると思います。 1 3) ラジオ体操は体にすごくいい 外で体操をしたいので、防災無線でラジオ体操を流すことができないか。 →以前時報のサイレンを放送することについても裁判になった事例もあるので難しいと思います。地域の方全員の同意が必要になると思います。 以上
意見・提言	1) 共産党の屋外広告について昨年県の選挙管理委員会に連絡したら、2～3日ですぐ撤去してくれた。公共の土地等に設置されているものはすぐ撤去すべきだ。 2) 沖縄の翁長知事が馬毛島に来た件について、8月の臨時議会の様子が全国放送で流れた。その際に議会の空席が多く、印象が悪かった。 →馬毛島問題だけの議会だったので、関係する課等の長と市長以下3役など出席者が少なかったのが、確かに誤解されかねない様子だったというのがわかりました。 3) 旧農協支所から小学校に抜ける道が狭く、離合もできなくて不便なため、改良をお願いしたら、工事は平成30年頃と回答されているが、長さは200m切る程度。改良をもっと早くにお願いしたい。 4) どんがタクシーの運転手さんに頼まれた。立山線が混んでいるため、臨時便が出るほどで、運転手にも好まれていない様子。野木地区まで古田線を延ばし、一便増やしてほしい。

	5) 高齢者対象の温泉に行く「遊湯クラブ」が赤尾木温泉を利用する際に、市内観光や町中で買い物をする時間を作る、もしくは年3回のうち1回は南種子町を利用するなどの工夫をしてもらいたい。
備考（今後の改善点等）	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会__1__班

班長 長野 広美

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 橋口 美幸

地域名 下西校区		住民の参加人数 男性 21 人・女性 10 人・合計 31 人	
月 日	28 年 8 月 31 日（水）	会 場	下西校区民会館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 33 分

報告の質疑	1) シカを穴を掘って埋めるというが、どうやって埋めるのか。機械でということであれば、それはその場所に置いてあるのか。 →シカを取った人が自分で人力で埋めるとのことです。機械は置いておりません。
	2) 去年の質問の回答で、シカについては、一般廃棄物となるから埋められないとなっている。今回の説明では、埋めるようになったのか。去年の回答と矛盾している。 →担当課に確認したところ、以下のとおりでした。 廃棄物処理法では「捨ててはならない」となっており、焼却施設で焼却するためには、60 cm 以下に切断しなければならないため、機械や場所等検討していましたが、予算面や人員等考慮し、保健所のほうともさらに協議をすすめたところです。 鳥獣法では、「鳥獣等の放置の禁止」がうあたわれておりますが、その通知集では、「原則として捕獲物又は採取物を持ち帰るか、地形的要因等によりそれが困難な場合は、風雨等により容易に捕獲物等が露出しない程度まで埋設すること等により適切に処理することが必要である。」と記載されています。 このようなことから、有害鳥獣については、この鳥獣法を上位法として適用し、今回埋設するようになったということでありました。 また、市で設置をするのではなく、猟友会が実施主体として、鳥獣対策協議会が場所の整備をしたあとに、猟友会が管理等を行うことにしております。
	3) 馬毛島問題について、現地を視察された方は何名か。タッチアンドゴーを見たことはあるのか。以前、厚木の隣の平塚に住んでいたが、騒音については、個人差があると思う。実際に見ないと賛成・反対口に出せないと思う。 →・厚木・沖縄については、1 名を除く委員全員が行っています。タッチアンドゴーは見たことはありません。 →・厚木に行ったときに、行政機関もタッチアンドゴーの訓練は異常な訓練だと言われました。賛成する団体は一つもありません。普天間を考えても、県知事の県外へという思いはわかりますが、なかなかそれを受け入れるところは出てこないと思います。ただ単に騒音の問題だけではなく、地位協定の問題、自衛隊と米軍の力関係、さまざまな問題があると思います。

	4) 中心拠点施設について候補地は一か所だけか。 →候補地は、他に、旧N T T跡地、現和物産館のところなど数カ所あり、まち歩きなどをして1年間かけて、現在の場所に決定したとの報告がありました。 5) 中心拠点施設について、候補地が町にばかりあって、鴨女町から下西にかけて、なぜなかったのかなと思う。 →例えば、鴨女町住宅の建て替えの問題にしても、場所の選定や住んでいる人の意思など、大きな視点で議論していきたいと思っています。ぜひ、市民の皆さんもアンケート等あったときには、意見を出してもらって、まちづくりに参加してもらえたらと思います。
意見交換会での質疑	1) 下西校区は国道沿いに新しい施設ができてきて、買う側からすると安いものが手に入りありがたい。しかし、大型施設ができたことで、小さい店は廃業に追い込まれている。小さい店が減ることで人口減少にもつながると思うが、こういうときの歯どめは何かないものか。このままの状態が続けば、自然と淘汰されて、大型施設しか残って行かないのかなと思う。 →・まさに、まちづくり特別委員会でそういうことを議論しています。商店街の皆さんも切羽詰まった状態ではありますが、シャッター街にならないような方策はなんなのか、具体的な解決策がないのが正直な気持ちです。先々を考えて、少々高くても地元の店を使う。その意識がここを守ることにつながると思います。 →・今の現実から逃げてはいけないと思います。守るべきところは守らないといけません。攻めの戦略を作らないと、自らの地域の持続性は出てこないと思います。よそに出て行って頑張っている人たちのノウハウを生かして、地元の人が業を興せるようにしないといけないと考えます。 2) 去年、あっぱ〜らんのゲートボール場について質問をしており、雨どいを修理をしてもらったが、まだ杭が残っている。何のためのものなのか。 →担当課に確認したところ、現地を確認し、まだ杭があれば、撤去しますとのことでした。 3) 去年の質問で、市営グラウンドの駐車場問題で、検討したいという回答があるが、その後の状況は。 →担当課に確認したところ、以下のとおりでありました。 この場所については、芝生で舗装をしておらず、芝生の養生をしなければならない時期もあります。また、入口付近がレンガ舗装になっており、現在でも陥没している箇所が一部あり、今後車が入ることによりさらに損傷する恐れがあります。現在、ほとんどの方がわかさ公園駐車場を利用いただいていると思いますが、今年度その駐車場の駐車ラインと舗装整備を実施しております。

	若干不便を感じる方もいらっしゃると思いますが、しばらくはこれまで通りの対応とさせていただきますと思います。 ご要望の駐車場の解放につきましては、通常駐車場として使用することはできませんが、行事によってどうしても駐車場が不足する場合等生じましたら、その都度対応していきたいと思います。
意見・提言	1) 老人会で出かけようとなった時、いろんな場所を行きつくしたので、たまには違うところをとという話になり、五葉松の自生地に行くことになった。しかし、運転手も中種子の人で場所を知らず、とりあえず、行ってみたが、木は茂っており、落ち葉も落ちており、道路にはのりも生えていて、滑りそうであった。そういうところの道路の管理もちゃんとしてもらいたい。他にも史跡や神社などいろいろあると思うので、由来などをテープに吹き込んで、そこに行ったら流すなどできないか。運転手もタクシー会社からきているからわからないということであった。市のバスの運転手として認めているなら、そういう教育もして、地図ぐらいは作ってもらえないか。お金がかかることでもなく、やろうと思えばできることだと思う。 →・今度、鉄砲館で名誉館長として、種子島の歴史に詳しい人を雇うことになっているので、そういう方の活用も検討したいと思います。 →・今はふるさと案内板も統一されていると思いますが、以前は2・3枚あったりしたこともあります。そういうふうに、案内板さえも把握できない状況もありました。市役所の担当者も変わるのでわからないと思います。今回出た話も知らないことだと思いますので、委員会で議論したいと思います。 2) 老人会であちこち見て回るが、たまには珍しいところということで、神社や石碑を市役所に聞きに行った。教育委員会と言われたが、全くわからず、鉄砲館へということで行っただが、みんなが知っているようなパンフレットに載っているものだけを言われ、結局わからなかった。石碑や神社などに、説明書をたてるなどして、みんなにわかるようにしてもらいたい。 →1) の回答と同様。 3) 寿大学で種子島の歴史について講話があったので、ああいう方に一緒にバスに乗って説明してもらってもいいのではないかなと思う。 →1) の回答と同様。 4) 小さい店は田舎に一軒あればいいほうで、今は卸やがいなくて、仕入れ自体ができないと聞いた。商店街で卸組合でも作って、大字の小さい店におろすような仕組みを作った方がいいのではないかな。田舎の店も育てるというようなことを検討してみる必要もあるのではないかな。

	→今からは買い物難民がでてくると考えられます。その対策も市と商工会と協力して考えなければいけないと思います。 5) 下西校区の質問だけでなく、他の校区でもどのような質問があったのかみてみたい。
備考（今後の改善点等）	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会__2 班

班長 橋口 美幸

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 長野 広美

地域名 榕城 校区		住民の参加人数 男性 12 人・女性 0 人・合計 12 人	
月 日	平成 28 年 9 月 2 日	会 場	市民会館 301 会議室
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 30 分

報告 の 質 疑	1) 昨年給食センター納品業者として赤字経営である公設市場について質問したが、議会からの回答には小規模業者は「踏み倒す」との差別的な文章がある。小規模業者が何を踏み倒すのか。また、県は給食センターへ納品するのは適正ではないと市場に指導しているが、議員はそのことを知っているのか。 →踏み倒すという文章は、小規模業者が踏み倒す意味ではなく、公設市場にその可能性が無いという意味であります。表現は不適切だったと思います。また、県の行政指導については調べてみます。 2) 報告会資料の表紙には開催回数と日時、場所を記載してほしい。
	1) 道路によってはかまぼこみたいで、月面道路と呼びたいところがある。市道の改良状況を説明してほしい。 →速やかに行われていると思っていますが、大震災が続いていて、国からの予算枠との関係もあります。 2) 種子島から羽田までの飛行機の直行便の陳情はできないものか。 →LCCについても取り組んでいかなければならないと考えています。中国からのLCCを種子島へという検討もされているようです。パイロットの養成など様々な問題はありますが、行政も議会も様々な研究をして努力をすべきだと議論しています。 3) 燃えるごみの収集だが、どんなゴミ袋でも出せる鹿児島市はうらやましい。本市は有料袋しか使えないが、いつまで現状が続くのか。 4) ゴミ処分は持ち込む場合 50 kg まで 250 円で、一般の家庭が収集場所にゴミを出すと場合 1 袋 10 kg で 50 円ぐらいになるように計算されている。ゴミ袋を半透明にすると中身がわかりにく、焼却場で危険な場合も出

てくることから指定ごみとなっている。結び紐の付いた袋だと高くなる。

- 5) 高速船の料金が割高。桜島フェリーのように、高速船公営化の話はないのか。

→議会では、バンカーサーチャージが割高になったままで透明性がないため、改善する努力を企業側にも依頼しました。三島村では国の補助を受けて、船を運行しており、長崎県なども甲板を国道とみなして制度設計をしているところもありますので、新造船対応など行政の役割について議論していきたいと思います。

- 6) 昨年の議会報告会についてホームページに掲載されているとの説明だったが、議会のHPをどれぐらいの市民が見ているのか。金はかかるかも知れないが、高齢化が進む中で考慮すべきだ。

→沢山の文量を経費が掛からず紹介できるのでHPを活用していますが、確かにもっと見ていただけるよう工夫が必要だと思います。

- 7) 先月沖縄県知事が馬毛島訪問したところ、種子島上空でも戦闘機の形をした飛行機が飛んだそうだが、議員は認識していたのか。また、事前にそのことを知っていたのか。FCLPの騒音は新幹線レベルの70デシベル程度だと説明されていると思うが、実際には100デシベル以上。実際の騒音を確認すべきだと思うが、どのようなプロセスで決められるのか知りたい。

→翁長県知事の馬毛島視察について地元へ何の連絡もなく、そのことを遺憾であると臨時議会で決議しました。そのころ種子島上空で戦闘機が飛んでいたとの市民からの目撃情報も聞いていますが、東シナ海で日米合同訓練が実施されたと後で聞きました。軍事訓練自体が公表されることがありませんので、私たち議員が事前に知ることはできません。また、事前通告についてですが、私たちは沖縄、岩国、厚木等へ視察にいきましたが、厚木基地では米軍の戦闘機が飛んだ際に騒音を聞き、実際にすごい爆音だと感じました。実際の飛行は時間外だったり、経路を外れたりすると聞きました。

- 8) 厚木の艦載機はスーパーホーネットで、どの程度の騒音かを体験しているはずだが、調査し、把握してきてきたのか。

→厚木や三沢ではFCLPの騒音が耐えられないとして硫黄島に移転していますので、耐え難い騒音だったと聞きました。また、昨年厚木でFCLP訓練が突然行われ、その際の市民からの苦情は2,000件以上になっています。馬毛島の場合は自衛隊が示している経路では70デシベルだが、自衛隊が独

自に想定したもので実際のところは定かではなく、先の防衛省との意見交換の場でも騒音が発生すると発言しています。

9) F C L P 訓練の事前通告は制度的にないことを確認したい。

→ありません。

1 0) 鹿児島奄美間の運賃が、2, 0 0 0 ~ 2, 5 0 0 円と安くなった。種子島の高速船料金を引き下げるよう本県出身の国会議員を活用しているのか。

→離島振興法も改善され、有人国境離島新法も制定され、来年度事業計画が策定される予定です。

1 1) 議員定数の件について。単純に議員定数を削減するものではないと考えるが、私も農業委員として市役所に足を運んでいるが議員と出会わない。市民のために議員は何をしてきたかが問われている。人口減少だけではなく、議員の働きが足りないからだと思う。

→今年6月議会で議員定数を削減するよう陳情書が提出され、現在議会運営委員会で調査し審議しているところです。できるだけ市民の皆様に分かりやすいよう、検討していきます。

1 2) 馬毛島対策特別委員会の説明文には基地交付金等は決まっていないと書いているが、基地交付金は固定資産税の代わりであり、米軍再編交付金は迷惑料の性格を持ち、全国の事例からある程度の推測ができるのではないかと。もっと丁寧に説明してもらいたい。また、議会だよりに馬毛島に決定したわけではないと書いてあり、他3箇所ほど候補地があるとも書かれていた。日米合意文書には馬毛島しか記載されておらず、市民に誤解を与える表現ではないか。市民が安心したらいけない。

→補助金等の説明は不足していたと思います。しかし、現時点では設備の内容も未定で、住民に迷惑をかける度合いによって違いますし、省令により決めているので大臣の裁量もあるなど、具体的な数値化は困難であることをご理解いただきたいと思います。FCLP 訓練の候補地問題については市民に慎重に情報公開したいと考えます。

1 4) 8月臨時議会の決議に大賛成。普天間基地の馬毛島への移転に反対の決議は、どこに送付したのか。また、普天間基地移設問題はオール熊毛で反対してもらいたい。中種子、南種子、屋久島ともう一度スクラムを組まないと県は動かない。市議会にもう一汗かいていただきたい。

	→送付先は、鹿児島県、沖縄県、おおさか維新の会、国です。また、熊毛の1市3町の首長や議長で以前協議会を立ち上げました。新たな枠組みについて現在議長も動いているところです。
意見・提言	1) 市民に情報が正確に伝わっているのか疑問に思う。情報のスピードと重要度の高い情報とそうでないものとを区別し、わかりやすく伝える努力が必要ではないか。高齢化で耳が遠くなっている市民もいる。市民がどういう情報の受け取り方をしているのかをアンケートを実施集約したうえで、全ての市民が知ることができるように丁寧な対応をしてもらいたい。 →市民とともに討論会を開いたりして善処したい。 2) 初めて報告会に参加しました。議会も傍聴していますが、傍聴者が少ないことにびっくりした。FCLPの時は多い。市民の発展のためにお願いしたい。私は以前土木関係の仕事をしていましたが、FCLP騒音問題については、障害物が少ないため、陸上で10kmが海上では5kmの音響で聞こえてくるので、馬毛島への誘致は反対です。 3) 傍聴者が少ないと言われたが、私はテレビ放映（共聴番組）をみている。 4) ガソリンの値段について奄美や沖縄県と本市と比較すると本市が高い。
備考（今後の改善点等） (ア)榕城校区へ開催の協力をお願いしたが、これまで参加者が少ないため校区としての参加を見合わせ、来年度以降について今年度の結果を参考にしたいとの回答があった。このため、今年度開催は、開催チラシの全戸配布及び榕城校区への防災無線によるお知らせ広報などを議会として対応した。	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会 1 班

班長 長野 広美

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 9 月 16 日

記録者 橋口 美幸

地域名 安納校区		住民の参加人数 男性 8 人・女性 1 人・合計 9 人	
月 日	28 年 9 月 13 日（火）	会 場	安納校区会議所
開始時間	19 時 00 分	終了時間	20 時 43 分

報告の質疑	1) 中心拠点施設について。反対したということであったが、西町・東町の活性化について何か案はあるのか。どこかにそういう施設があったほうがいいのではないかな。 →議会でも、西町・東町・鴨女町を対象にアンケートを取りました。その中でも、今ある施設を活かしてほしい、場所もあそこではなく、商店街の中にといい意見もたくさんありました。どういう施設をどこに持ってくるのかという議論をしています。商工会の皆さんの意見も聞いたり、市民の意見も聞いたりしたいと思います。
	2) 根本的に考え直さないといけないと思う。何かものがあればというより、今は大型店があり、そこに行けば何でもそろそろ。商店街が一つになってほしい。まずは、道を広くすることだと思う。行く人は、まず車をどこにとめるかを考える。駐車場があるところに行くと思う。何か考えないとさびれていく一方である。 →・生活があるので、少しでも安いものをという気持ちもわかりますが、地元の人も商店街を守ろうという気持ちも大事だと思います。 →・大型店舗については、駐車場も広く利便性があります。このままでは、まちなかもさびれていく一方だと思います。商店街も駐車場など、環境整備をしなくてはならないと考えます。
	3) 中心拠点施設について、当局はやろうとし、議会は反対をしている。非常にもめている感じがする。議員も経営者の話を聞いて、まちなかが空洞化しないように考えてもらいたい。やっぱり駐車場がないとダメだと思う。東町公園も人が遊んでいるのを見たことがない。駐車場にするなどして有効活用できないものかと思う。反対ばかりしていても前には進まない。なぜ、反対なのか。 →・中心拠点施設については、ランニングコストもかかり、月 100 万ぐらいの赤字が出る計算となっています。物販についても、周辺の商店に影響があるということでもなくなりました。全てについて反対といっているのではなく、例えば、マイナスの面があっても、市がにぎやかになればいいと思いますが、提案された時点では、それが見えてきませんでした。 →・商店街の人へアンケートをとりましたが、一番の問題は知らない人多すぎ

るということでした。他にも場所の問題、回遊の問題、いろいろありました。公共事業としては有利ですが、第三セクターのようなもの、市と民間でやるようなものは、失敗していることが多いです。行政がやると、赤字になってもそのまま続いていくというのが問題だと思っています。

- 4) 大型船が来たとき、観光客がおりてくると、目の前はテトラが並んでいる。あそこに何かできないものか。何とかうまく解決できるようにしてほしい。

→そういう話もできました。場所の問題もあると思います。商工会とも意見交換会を実施し、当初は反対という人も施設の必要性は認めるというふうに変わった人もいます。西之表市に中心拠点がないということもあるので、大字の人も利用できて、まちなかが再生できるような施設にしなければならないと考えます。

→・議論はまだ足りないと思っていますが、拠点になるような場所は必要だと思います。維持管理にどれぐらいかかるのか、後々の市民の負担についても考えていかなければならないと考えます。

- 5) 行政が先導すると赤字がでてよくないという話はわかるが、全国的に見て、反対勢力が多いところもうまく行っていないと思う。

→商店街が力があればいいが、実際は難しいと思います。市が先導でやっていったほうがいいと個人的には思います。

- 6) 地方創生事業の補助金を使うのにタイムリミットはあるのか。

→地方創生の計画は5年間となっています。地域のためになる予算の使い方をしてほしいと思っています。

- 7) 中心拠点施設をつくるのに、そもそも地元の人が満足するものにするのか、島外の人を対象にするのか。そこを一緒ににはできないのではないかな。本当は通りが頑張してほしい。店舗一つ一つを元気にしてほしい。人の往来、行き来を考えないとにぎわいは出てこない。地元の人も満足するような施設になるのか。

→中心拠点施設ができたからといってすぐににぎわいが出るわけでもありません。市民・商店街・行政と複合的に取り組んでいかないといけないと考えます。

- 8) 施設の中を見たときに、この地区にこういうのがあるとかわかるものがあればいいのではと思う。

→歴史・文化の面において、地域の紹介など、地元の人も観光客も行って楽しめるものでないといけないと思います。

- 9) シカについて。これから、とったら埋めていくのか。

→牧之峯・安城・古田の三か所に穴を掘って自分で埋めるということです。予算

	次第では下西にもということでした。
意見交換会での質疑	1) 安納いもがあることはあるが、高齢化となり、後継者なんてもってのほか、限界集落手前となっている。議員も発想の転換をしてほしい。和牛がいいといっても、その中でも減ってきている。年な人はやめていく。若い人をたくさん雇って、農業・畜産をさせるということが地方創生の予算でできないか。 →一部の人たちが潤うような農業振興ではいけないと思います。成功している人たちの活用をしたり、その時々に応じた対策が必要だと考えます。 2) 農政行政がうとい。農家・地域をじっくり見て、どういう助成があるか、補助金があるか教えてほしい。そういう情報発信がうとい。聞いたときには、遅い。終わっている。福祉、福祉というのが、農政の方にももっと力をいれてほしい。アドバイス・サポート的なことをしてほしい。 →・そういう話は耳にします。市全体を考えて、その農家に応じたメニューをつくらないといけないと思います。 →・高齢化もあり、行政の丁寧な説明は必要だと考えます。 →・有人国境離島法については、人・モノの運賃削減はありますが、農産物の輸送費についてはまだ見えてこない状況です。要請活動の話もできていますので研究させてください。 3) 安納の避難所に電力確保のために太陽光はできないか。住吉にはできている。 →分散型エネルギーマスタープランの調査・研究のために、すこやかや住吉小等に設置しています。 4) 馬毛島問題について。中種子町は自衛隊の誘致活動をしているのか。 →・中種子町は空港がなくなってすぐ、民間と行政で自衛隊誘致活動をしています。 →・中種子町議会は、自衛隊の誘致について採択もしています。訓練も行われている状況です。 →・馬毛島の問題ではなく、空港跡地活用の問題だと思います。 5) 堆肥センターをつくってほしい。いいものを作るには個人でやるにはお金もかかる。 →以前、横山でという話もありましたが消えてしまいました。今後検討したいと思います。

意見・提言	1) 視察のための視察ではなく、目的をもった視察をしてください。 2) 議員定数については、今のままでいいと私は思っている。減らせばいいというものでもない。集まってこそ知恵がでる。減らしすぎると市民の頼るところもなくなる。
備考（今後の改善点等）	

平成 28 年 9 月 16 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会__2 班

班長 橋口 美幸

西之表市議会報告会 報告書

提出日 平成 28 年 11 月 21 日

記録者 橋口 美幸

地域名 伊関校区		住民の参加人数 男性 14 人・女性 2 人・合計 16 人	
月 日	28 年 10 月 28 日（金）	会 場	伊関本村公民館
開始時間	19 時 00 分	終了時間	21 時 00 分

報告の質疑	1) 畜産クラスター事業はどういう事業か。 →畜産農家が牛舎の整備や機械を買おうとするときに援助をするという事業。 2) 拠点施設建設について、市長はまだまだ意欲を持っていると感じる。これまで、測量もしたり、いろんな構想もできあがったりしている。様々に議論をしてまっただけをかけるというのはわかるが、これまで使ってきた経費はどうするのか。 →議会としては、設計費用等これまで使ったお金があるから、このまま認めるということにはならないと判断している。3 億円近い交付金を使って施設を作り、そしてその施設が月 100 万ぐらい赤字を生み出してしまう施設であるという計画しか議会には提示されていない。議員さまさまざまな意見があるとは思いますが、提案された施設が活性化に結び付くという根拠がないという判断であるので、今後また議論していく課題だと思っている。 3) 拠点施設について、いろいろ議論されるべきだとは思いますが、港の表玄関だと西之表市は言われる。しかし、観光客はバスがきて西之表を通り過ぎて、中種子・南種子に行く。景観的にさびれていくような気がする。トッピー乗り場から歩道をつくるという構想も聞く。議会の同意が得られなければ、構想で終わるのかなとも思うので、しっかり見守っていきたい。 →当初はかなり強固な反対にあったが、まちづくり特別委員会の中では、ランニングコストについても、仮にしっかり支える団体が自立をして補助金も少なくなっていく、校区にある小さな拠点と連携してネットワークを組んで、地域おこし協力隊や若い人たちが活発に活動をしたり、あるいはふるさと納税の受け皿といったことも検討しているみたいなので、機能が将来的に役に立つ、施設の運営がしっかりされていくということが議員の中に浸透していけば、情勢も変わってくると思う。 →表看板の場所がないというのはわかるが、そもそも一年以上議論しているが、中身がころころ変わっている。議会からもいろいろ質問するが、その度に内容が変わっていくというところもある。議会の理解が得やすいように内容が変わったりする。そもそも何のために作るのか、そこがよくわからない。一番の問題点は、責任の主体が明確でないというところ。商工会のほうも作ってくれという要望書は出したが、商工会自らの判断で、自らが責任をとってやっていくというのを聞いたことはない。行政も商工会も賛成する方は、誰も責任をとらない。そうする

と、皆さんの税金を無駄遣いすることにならないのか。やはりこの施設は、責任主体が明確でない。市長の思いはわかっているが、反対をしなければならないと思っている。

→議員だからそれぞれ意見があると思うが、地方創生で国をあげて変革を促しているので、人口減少とか雇用とか、そういうのを含めて何かのきっかけを作っていく、また挑戦をする地域であってほしいと思っているので進めていきたい。

やはり、今まで財政が厳しいという守りの姿勢も当然大事なことであり、医療・福祉・介護・教育に絶対責任を持たないという気持ちはみんな持っている。だけど挑戦をして、それが化ける可能性もあるわけで、よそが失敗しているから反対ということではなく、人が地域を変えていくという人づくりということもあるので、踏み出す時には踏み出すのが大事だと思う。将来の我が地域をどういう地域にしていきたいのか真剣に考えたい。

→さまざまな構想は県の事業にのせていくという計画であって、まだ計画段階で申請もしていない状況だと思う。商工会も含めてまだ議論すべき。北部観光、浦田海水浴場から大へゴ、メヒルギ、また浜脇から安納にかけての観光ルートを構築していかないと、箱物だけでは観光客は西之表市にはこないんじゃないかと思う。まだ何か仕掛けがあるなということも含めて議論していかないといけない。

- 4) 中心拠点施設の削除とあるが、議会に説明があってから削除したのか。取り下げたのか。削除されてから当局とは話をしていないのか。何回も上げたり下げたりして、議会軽視ではないのか。維持管理、収支予算まで行政はしっかりと計算をしてから議会に出すべきではないのか。

→去年の6月に話は出たが、提案する前に取り下げた。9月の議会では提案がされたが取下げ、12月議会では予算化もされ議案書として出てきたので、まだ議論も進んでおらず、市民の理解も得られていないものをおすわけにはいかないということで、拠点施設建設の部分を削除した形で認めた。その後、議会と行政との話し合いがつかない中で、今続いている状態。経費を出してくれと言ったら、毎月毎月赤字が出る予算を出してきたので、それでは認められませんという段階である。

→行政側も一議員から質問されたぐらいで、きちっと説明できないようなものは出してはいけないと思う。

→行政がこういう拠点施設とかそういうことを考える場合には、いくら儲けるとかそういうことは考えないところがある。赤字の予算については、商店街のことも考えて物販ができないという中の予算であった。今回は、特産品協会が責任を持って、そこでふるさと納税の対応もしていくという形がでてきてるから、その辺をちゃんと見極めれば、違う展開があるのではないかと思う。しかしまだ反対も多いので、そこはしっかり行政当局も説明をして、議員も市民も納得する形になればいいと思う。

- 5) ホームページリニューアル事業とあるが、議会の様子をホームページでも見るこ

	とができるのか。共聴が見られない地域もあるので、ぜひ、公開してほしい。 →議会運営委員会でインターネットでの公開について研修にいった。ユーチューブにもあげるといふ話もでている。今後さらに検討していきたい。
意見交換会での質疑	1) 以前、病院に勤めていた時に、サーフィンをする若い人たちが、伊関に住みたいけど住宅がないと言っていた。地域でも協力はしたいが、限界がある。行政でなんとかできないか。 →住宅については、議会でも何回も一般質問でもでている。これまで小学校の教員住宅を市営住宅に移管する取り組みもしているが、まだまだ地域的にも要望があると思う。地域、地域に応じた取り組みをやらなければならないと思う。議会でも持ち帰って議論したい。 2) 市街地がにぎわって、潤っていくのは大変いいことだと思う。しかし、私は伊関が大好きだから伊関に住んでいるが、時代は統合だ、廃止だということでJ Aもなくなり、小さい店が2件しかない。西之表の中で限界過疎集落、伊関と安城が一番進んでいる。現状では、若い人たちは買い物が不便だ、学校が遠いということで町の方に住んで、田舎には若い人がいない。町なかのことは当然でしょうけど、地方のことにも目を向けて、原点に返って考えてもらいたい。 →議会も市長も大字に光を当てたいという思いは同じ。地域の特性や魅力といったものを活かして、それをもっと活力にかえていきたい。中割のほうでも簡易宿泊施設をつくる取り組みも始まっており、伊関の方でも地域おこし協力隊の皆さんも一緒に魅力ある地域づくりというのを取り組めたらと思う。 →おっしゃったように、伊関のよさを全国にアピールできるような、自分たちの地域が大好きだから外に発信したいという、地域力っていうものを一緒に作れたらいいと思う。自然を大事にして種子島そのものを楽しめる観光政策が求められている。 3) 湊線のところ、道がボコボコしている。見てもらえないか。 →産業厚生委員会で調査をして、建設課にも見てもらって検討する。 4) 浜脇、杉さんの家の手前から携帯が繋がらない。農業の事故も多いので、すぐ連絡を取れるようにしてほしい。 5) 三反園知事との懇談会の内容について教えてほしい。 →私は、①馬毛島問題について、前知事は地元の意見を尊重するということであったが、知事はどうかということ、②子どもたちの医療費窓口無料についてどうするのかということ、③川内原発について停止も求めているが、その後どういことをやっているかということ、三点を質問した。①は前知事と同様、地元の意見を尊重するとのこと。②については、全国で窓口無料化が進んでおり、国が無料化制度を検討しているので、それに期待したいということ。③については、今までどおりやっていくとのことであった。 →知事が熱心に話されたのはドームの建設について。コンサートや野球・サッカーの試合等により、集客になり、経済効果もでてくと熱弁された。

→格安航空LCCのことも進めていきたいとのことであった。

- 6) 浜脇公民館は鉄筋で大きい公民館だが、防水もできない、屋根も落ちそうな状態。津波がきたら集落の方は公民館に避難するが、集まっても一番危ない建物である。避難場所として決まっているところではないが、集落の人はみんな公民館に行く。いろいろな事業で作れないか考えて、公民館を何とかしないといけないと動いているので、行政のほうでも何とか汲み取ってもらいたい。

→小さな補修等については、チャレンジ交付金等がある。建て替えになってくるとやはり簡単にできるものではない。

→地方創生事業もしばりがいろいろあるが、本来ならそういうところにお金を使ってほしいというのはある。

→確かに道路や橋梁には国が補助をするというのがあるが、地区の公民館について補助がある制度というのではない気がする。議会としても要望を出して、少しでも地域の負担が少なくなるように取り組みをやっているといけないと思う。

- 7) 黒糖づくりをやっている。残してほしいと言われるが、古い小屋と古い機械の維持管理に経費がかかりすぎて、赤字に近い状態でやっている。その中で後継者を育ててくれと言われてもちっと無理がある。何かいいアドバイスをもらえれば。観光の一環としてまわってきて、体験をする。そういうことがあるなら、こっちのほうも少し見てもらいたいと思う。また、さとうきびが不作だったということもあって、何をやっているのかわからない状態。そういう状態では後継者は育たない。

→観光のルートにも入っていて、他でしようと思ってもできないわけだから、こういうのは大事にしないといけない。

→本当に申し訳ないなという気持ちを持っている。いったん途絶えると再開というのは相当難しいと思う。せっかく黒糖づくりの伝承があるのだから、そこは大きな魅力になっていくし、観光振興にも役立つし、それが大きく花開いて雇用の拡大にもつながっていくということもある。私たちの地域は大々的に打って出ている、本当にいいものをまだ活かしてないところがあるので、そこは地方創生の計画も始まっているので、そこに入れたらどうかなと思う。

→本当に継続してほしいもので、地域の観光の目玉になる黒糖づくりだと思う。そこは議員どの人も意識は同じだと思うので、拠点施設よりも各地域の発展というものに活かしていきたいと思う。

→活気のある村とか町というのは、やはり昔ながらの伝承芸能や伝統行事を守っている地域だと思う。黒糖づくりは、西之表市が武器にできるような巧みの技で、売りにできる事業であると、改めて話を聞いて感じた。力を入れるべきところだと思う。

- 8) 4年後東京オリンピックがある。そのときに、私たち地方の人たちも、出店したり何か協力できるものはないか。行政、JA、建設業や企業とかみんな何か参加することができないかなと思う。

→そういう意識を持つことはとても大事だと思う。

→LCC の関係もあったけど、そういう見方というのはすごく必要になってくると思う。観光といっても、近回りだけじゃなくて、海外も含めた戦略をつくるとか、そこが最初からあきらめて立ち止まってしまっているんで、もうちょっと攻めていってもいいんじゃないかと思う。

- 9) 赤尾木の湯、せっかくいい温泉なのに、入浴料が高くて、みんな中種子・南種子に行っている。個人で行く場合に、市の補助ができないものか。体にいいものだと思うので、もっと健康面に活用できればと思う。鹿児島なんかには湯治に行く場合は、健康保険課から補助がでるので、そういう関係でできないか。

→民間がやっていることにどこまでやっていいものか、市民の要望とかそういう声によって要請はできるかもしれないが、本来はあまり入れないところである。話し合って交渉していかないといけないと思う。

- 1 0) 柳原集落に防火水槽が整備されていない。10 年ぐらい前に、要望したことがあるが、他の地域もあるということで未整備の状況。どのような進捗状況か。

→総務文教委員会で持ち帰って確認する。

- 1 1) 人口に対して議員数が多いと思うか。

→6 月に議員定数の削減について陳情が出され、継続審査となり、9 月に不採択という結論がでた。陳情書では 12 名という数字が出ており、陳情者から意見聴取も行い、根拠も話をした。議会の在り方、議員の質ということについて、市民と一緒に勉強をし、そして一定高まった中で、議員定数を減らすということが望ましい。それには、あまりにも時間がなさすぎるということで、来年 2 月の選挙までは 16 名でいき、選出された議員の中で、報酬の見直し、定数の見直しということをして、市民と一緒に議論をするということになった。

→無記名で全議員にアンケートを行った。「16 名が適当」が 11 名、「14 名なら減ら」が 4 名いた。16 名が適当という理由については、委員会構成が難しくなる、若い人が出にくくなる、市民との議論が足りないということがあげられた。

- 1 2) 議員定数については早くから話が出てくると思う。救急な話ではない。だから時間がなさすぎると言われるが、理由にはならないと思う。検討しておかないといけないことだったはず。

→議員定数の問題には正解はない。委員会構成についても 1 委員会でも、2 委員会でもやらないといけない。それが自分たちの仕事なので、委員会は関係ないと思う。榕城校区は減らせと言う声が圧倒的に多いが、議員がいない大字に行くと、減らしたら出せないようになるから、出しづらくなるからという意見が多かった。その辺を大字の人たちと話をしていけないといけないと思った。

→平成 9 年には 22 人だった。その後行財政改革で、報酬についても削減してきた。現在すでに 6 名削減してその効果もあがっているというところも理解していただきたい。

→委員会も 1 つになってしまうかもしれない。それでいいのか。議員が市民に

	替わって見ていくわけだから、そういうことも含めて、今後議論をしていく。 人口も１年で２００人ぐらい減っているから、減らす方向で検討していくことになると思う。 →市民のみなさんの減らしてもいいという意見は、市民の率直な批判の声は真摯に受け止め、議員も反省をし、どういう議員像が理想なのか真剣に考えたいと思う。 →議会報告会も以前はなく、今年で４回目となる。議会と市民が意見を交わすいい機会だと思う。言いたいこともいっぱい言ってもらって、そういうことも含めての議会報告会であるので、今回もいい意見をたくさん聞かせてもらった。
意見・提言	１）海岸線のところも、すごくいいところなので夏限定の海の家とかバーベキューをしたりして、観光バスもそこに止めて、観光客を楽しませる。地域をもっと活用した観光っていうのを考えてほしい。サーフィンをする人たちも、個人でちょっと店をやったり、シャワーを作ったりしているが、もっときちんと更衣室や飲食場所を行政が援助して作ってあげられないか。
備考（今後の改善点等）	

平成 28 年 11 月 21 日

西之表市議会報告会実施要綱 第 10 条第 1 項の規定により提出します。

議会報告会 2 班

班長 橋口 美幸